

令和元年度 長野商業高等学校 定時制 学校評価表

学校教育目標		重点目標(中長期目標)							
大事なのは今までのあなたじゃなく、これからのあなた。個々のペースに応じたカリキュラムを構築し、社会的に自立した人間を育成する。このため、次の目標を定める。 1 学ぶ意欲と主体的に取り組む姿勢 2 充実した学びの場の構築 3 自分らしく生きる人間の育成		1 基礎学力の定着と、個々の興味・関心・適性等に応じた教育活動の展開。 2 単位制教育の特徴である個々のペースで学べるカリキュラムの構築 3 暴力・いじめのない安全・安心な学校作りを推進する。							
		今年度の重点目標 〇自らの力を信じて夢に挑戦できる生徒の育成	達成度	にA よ: い非 常	むB ね: よお いお	りーC 計: 画 通	不D 満: や や	分E : 不 十	成果と課題
		①多様な生徒の実態に応じたわかる授業・自ら学ぶ授業の研究と展開	100%		6	5			・3つの方針を全職員で時間をかけ、考え、生徒をどう育成していくかを共有できたことは大きい。 ・今後はそれを自分の教育活動にどう落とし込んでいくか更なる工夫が求められる ・自分から挨拶する生徒が増えたと感じる
		②ジョブリサーチ・SST・生徒会行事を通して、他人を思いやる人間の育成	100%	1	3	7			
		③挨拶をすることとマナー指導の徹底	91%	2	2	6	1		
分野	評価項目	評価の観点		にA よ: い非 常	むB ね: よお いお	りーC 計: 画 通	不D 満: や や	分E : 不 十	成果と課題
学習指導	学習意欲の喚起	〇生徒の実態に基づく授業改善と工夫(UD化等) ができたか。	82%		5	4	2		・事前に生徒の個別支援や困り具合がわからないことがある ・困っている生徒に対する配慮は全体の配慮につながるという考えのもと、授業を工夫していきたい
		〇一人ひとりの学力や適性に応じた指導がなされたか。	82%		4	5	2		・少数でも学力差のある生徒への対応が課題 ・外国籍の生徒への教材のルビふり等の工夫
	商業科目や各種検定で資格取得数や受験者数の増加	〇各種検定や資格取得に向けた呼びかけや支援が行われた。	90%		3	6	1		・高卒認定のPRを教科担当としてもっと行えばよかった
		〇各種検定に少しでも多くの生徒が挑戦しようとしたか。	80%		1	7	2		・もっと検定にチャレンジするような工夫が必要 ・高卒認定の合格率をもっと高めたい
		〇資格検定合格者が増加したか。	70%			7	3		・増加しなかった。来年度もチャレンジさせたい ・その都度、実施や合格者等を共有できるとよい ・高卒認定・不合格科目もありもっと丁寧に指導すればよかった
	シラバスに沿った計画的な授業展開	〇シラバスに沿った計画的な授業展開がされたか。	100%		4	7			・年間計画に沿って概ね授業を行うことができた
	キャリア教育計画の実践	〇学校設定科目「ジョブリサーチ」を中心としたキャリア教育を実践できたか。	100%	3	1	7			・全職員が担当する授業はとても良い ・各職員の得意な内容で多面的な指導ができた ・卒業生の話など、特に就職した生徒の話を聞かせたい。
進路指導	個々の特質に応じたきめ細やかな進路指導	〇進学・就職試験のマニュアルを作成し、説明会を通して、平等に周知して進めることができたか。	100%		4	5			・担任も説明会に出席でき、生徒に指導することができた。引き続き来年もそうしたい。
		〇選考開始に間に合う生徒には早めの指導をし、様々な事情で遅れが生じた生徒にも係と担任が協力して、卒業まで粘り強く指導を続けることができたか。	100%		4	6			・障がいのある生徒の進路保障もしっかりとできた ・正社員をゴールとしない指導も必要になってきた
		〇職業安定所など外部機関と連携をとり、就職支援ができたか。	100%	1	3	6			・係を中心に連携して丁寧な指導ができた ・次年度は労政事務所の支援の要請を行いたい
特別支援	コミュニケーション能力の向上	〇一人ひとりの個性を受け入れ、対人関係能力や協調性を高める関わりができたか。	100%		3	8			・新入生への対応が良かった ・入学時の人間関係構築の工夫を継続したい ・特に外国籍の生徒に対しコミュニケーションの向上につとめていきたい
	生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援の実践	〇「困難さ」を職員全体で共有し、担任や特別支援委員会が中心となって支援が行えたか。	100%	1	2	7			・職員会での生徒情報交換ができるのはよい ・具体的な支援について担任・係が中心となり、学校全体で話し合えるとうい ・特別支援委員会では毎週会議を行い、丁寧な支援ができた ・担任の意見交換を密にできた
		〇障がい(疑い)のある生徒について個別の支援計画を作成し、具体的な支援や合理的な配慮ができたか。	82%		2	7	2		・特別支援委員会が中心になってきめ細かな指導ができた ・事前に生徒の個別支援や困り具合がわからないことがある
		〇関係機関と連携した教育活動を実践できたか。	100%		3	7			・特別教育支援員との面談もあり良かった ・今後も生徒支援のために連携を大事にしたい
生徒指導	学校生活における公共マナーの向上	〇公共マナー遵守への呼びかけや指導がしっかりと行われたか。	100%		4	7			・机の中の私物の置きっぱなしも含め、自分のものの管理について指導した
		〇上下履きの区別、入室時のあいさつの徹底ができたか。	82%	2	1	6	2		・あいさつは徹底できている ・きちんとあいさつできる生徒が多い
		〇喫煙に対する意識向上や防止に効果がみられたか。	100%	1	1	9			・特に大きな問題はなかった。
	交通ルール遵守と交通マナーの指導	〇自転車・バイク等に乗る際に交通ルールを遵守しているか、また交通マナーが身についているか。	91%	1	2	7	1		・夜間定時制としてさらに安全意識を高めたい ・ステッカーの徹底 ・自転車事故があり、注意喚起を継続していきたい
	人権を尊重できる生徒の育成と安全・安心な学校づくり	〇登校時の指導や校内外の巡視等により、安全・安心な学校づくりが推進できたか。	91%	2	1	7	1		・全職員でのあいさつ週間や、見回りなど、生徒が気持ちよく安全に過ごせるよう取り組むことができた
「こころ・生活振り返りチェックシート」の実施	〇チェックシート等の確認により問題を把握し、対処できたか。	100%	2	2	7			・年2回実施し、心配な生徒について担任と連絡を密にした。その都度職員で共有し生徒を見守る体制ができている。 ・心配な生徒には個人面談や保護者連絡等できた	